

今日は祈願の中で申し上げましたけれども、会主さまのお誕生日を控え、会主さまのお心を頂いての供養会であります。

私はお陰さまで会主さまと共に生活をさせて頂きました。

小さい時から、生活の中で会主さまの姿勢というものを頂いておりましたし、夜中に信者さんからお具合が悪いと連絡を頂くと、すぐに寝間着からお着物に着替えられて朝までご法名をおつけし、供養されていた会主さま。常人では中々できないご修行をされていたのです。ずっと信者さんのことを思っていたらした。

寝ないで修行することほど大変な事はないのです。

会主さまは亡くなる直前までされていたのです。70近くになって寝ずに修行するというのは、本当に命をかけるという表現をしてもいいくらいなんです。

一番大事なものは信者さん。その為には全てを投げ打つ覚悟を持っていらっしやった。それが開教宣言の「土台」という事だったのでしょう。会主さまはそういうお方でした。

よく皆さんに私が伝えていたのは、支部長さんが亡くなると、必ずうちにごあいさつに来られ、会主さまが「この支部長はまだ懺悔が足りないので、来づらいから玄関にいるかもしれない。見ておいで」と言われ見に行くと玄関に立っておられるのです。

会主さまに「どうしますか？」と聞くと「どうぞといいなさい」って。玄関に戻るともうそこにはいらっしやなくて、法座の方に座っていらっしやるのです。やはり遠慮されるのです。

要は亡くなると分かるのです。自分の立場、自分のやってきたことがすぐに分かる。

その時は「ああでもない、こうでもない言って、遠慮なく図々

しく振舞っていた人でも、亡くなったとたんに遠慮できる人になるんだって。だから懺悔もわかるのだろう」って仰っていました。

また、会主さまのお力の一つとして、よく太陽を回せるって聞いたことがあるかと思いますが、信用しない人の為に、霊界が分からないだとか、目に見えないものが分からない人の為に方便としてお見せしていたわけですから。皆さんに菩提心を育んでもらいたいが為にお見せしたわけであって。

それを会主さまの凄い神力だとイコールで繋いで頂きたくはないのです。会主さまの凄い神力は、皆さんを思う心です。

会主さまのお話になったときにどうしても、会主さまが法名をつけられるとすぐに成仏できるとか、そういう話になってしまうけれども、それは1つの形であって、表現であって。

その根底にあるのは、どんな時でも信者さんを第一として思う。そのお心が私は会主さまの大神力だと思います。

会主さまがどうして皆さんの為に夜通し祈願されたのか、その根底にあるのは、諦めないという事です。「絶対に信者の為に私は諦めない」ここが会主さまが残された大きな指導です。

大導師さまの七回忌が終わって、「もうよかった」のではない。これからですから。こんなコロナの中で尋常じゃない世の中で、我々がやることは、諦めないで修行していくことです。

その一番の大きな修行は、お導きですから。

今回の七回忌もコロナの中で出来るかどうか私も不安でした。しかし、会主さまから「恵司大丈夫だよ。信じなさい」そういうご指導を頂いて、絶対出来る、そう固く信じ切って準備をさせて頂いたお陰であれだけの素晴らしい七回忌が出来た。諦めては何もスタート出来ません。

諦めず、信じ切って共にご修行していきましょう。それが会主さま大導師さまに対する報恩感謝でもあります。